

取組事例の紹介 ④

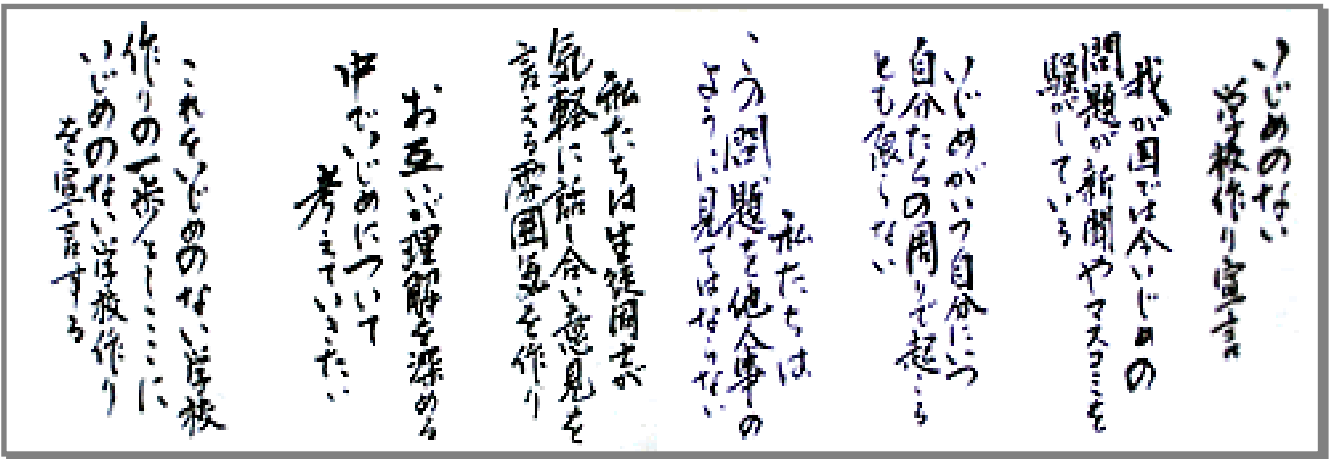


長野県教育委員会事務局教学指導課心の支援室

高等学校の取組

いじめの問題は小・中学校に限らず、高等学校でも大きな課題となっています。今回紹介する事例は、県下の2高校における生徒会の取組です。

いじめのない学校作り宣言 (K高校)



以下、学校(生徒会)による説明です

K高校には、「いじめのない学校づくり宣言」という宣言があります。これは、1996年 生徒会長を中心に生徒自治会によって宣言されました。この宣言についての詳しい経緯については残されていませんが、「いじめのない学校づくり宣言」は、生徒たち自身が考え、つくられたものだといえます。以来、この宣言はK高校の大事な生徒自治事業の一つとして引き継がれています。

いじめが原因による不登校、引きこもり、自殺などが多々発生している現代社会。これらは、自分たちの身近で起きてしまってもおかしくはないことです。しかし実際は、どこか他人事のように感じている人がほとんどだと思います。

K高校では毎年、生徒自治会によって「いじめのない学校づくり」を宣言するための、生徒による署名活動などが行われています。この活動は私たちに、普段考えることのない「いじめ」と向き合い、考える機会を与えてくれています。人は皆それぞれ違っています。学校のように集団で生活していく中では、意見の食い違いや性格の不一致などといった問題が起きることは当たり前のことであり、仕方のないことだと思います。しかし、その問題が「いじめ」につながってはいけません。様々なトラブルの起きる集団生活の中でも、K高校は誰もが過ごしやすい、楽しい学校生活を送ることができる環境でなければなりません。

K高校がよりよい学校になっていくためにも、今後もこの宣言を引き継いでいってほしいです。そして、「いじめ」による事件がなくなり、K高校に限らず、快適で過ごしやすい世の中をつくっていきましょう。

第31期 生徒自治会

携帯電話の所持率が9割以上になる高校では、ネットを介してのいじめが大きな課題のひとつです。S高校では、携帯電話使用のモラル・マナーを生徒自らが考え、トラブルに巻き込まれない、トラブルを起こさない能力を向上させるために、生徒会が中心となってルールづくりの実践をしました。

携帯電話に関する生徒会宣言(S高校)

近年全国的に携帯電話に関するトラブルが相次ぎ、学校裏サイトなどに書き込みが急激に増加しました。

携帯電話のメールなどによるイジメ、ねもはもない噂の書き込み。アダルトサイトや出会い系サイト等の有害サイト。

これら全ては、携帯電話によるトラブルのもとであり、自分や他人を傷つけてしまいます。

また、学校は学び舎であり、携帯電話を使う場所ではありません。授業中の携帯電話は授業の妨げになります。休み時間やお昼休み等に携帯電話を利用し、授業に専念しましょう。ましてや、イジメなど絶対にない学校にしましょう。

全校の皆さんが学校生活を充実して過ごせるように、今ここに「携帯電話に関する生徒会宣言」をします。

～平成21年(2009年)5月22日(金) 生徒総会～ 生徒会、校風委員会

<取組の経過>

平成20年度、S高校の携帯電話使用実態は、使用禁止のきまりがあるにもかかわらず、授業中こっそり携帯電話を使用する生徒がいたこと、携帯電話のメールを使った"いじめまがい"の事案が数件発生したことなどから、けっして良好とはいえないものでした。こうした実態に加え、小中学校において携帯電話の校内持込を禁止する全国的な流れがあったことから、本校でもこの際、携帯電話の校内持込を制限したらよいのではないかと考える職員が増えてきました。

しかし、学校としてすぐに制限を加えるのではなく、制限しなくてもすむ方法を生徒自身が考えることになりました。

指導の手順

- ① 校長講話で、生徒会が中心となって、携帯電話の使用実態に即した改善をするよう提案
- ② 生徒会係と生徒指導係とで指導計画を立案
- ③ 始業式において、生徒会係から携帯問題に取り組む意味(理由・目的等)を説明
- ④ SHRの時間とクラス応援練習の時間のなかで、生徒会長・校風委員長・文化祭実行委員長が1年生に対して、資料をもとに学習させた。2,3年生にも、各学年の状況にあわせた説明をクラスごと実施。
- ⑤ PTA総会において、携帯問題の指導について報告
- ⑥ 生徒総会「携帯電話に関する生徒会宣言」を採択。宣言を各教室に掲示

生徒の様子

- (1) 授業中に携帯電話を使用するものが皆無になり、メールを使用したいじめ・いやがらせの類も起こっていない。
- (2) 携帯を操作する前に、慎重な態度・姿が見られる。
- (3) 携帯を介しないコミュニケーションを大切にするようになった。